

## 特別活動(小学校)

### 学校行事はどう改善されたのか。

#### 1 学校行事の目標

学校行事の目標は、学習指導要領第6章第2「各活動・学校行事の目標及び内容」の〔学校行事〕「1 目標」で次のように示している。

学校行事を通して育てたい態度や能力を、新たに目標として示した。

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

よりよい人間関係を築き、公共の精神を養い、社会性の育成を図ることを重視した。

学校行事は、全校又は学年という大きな集団を単位として行われる活動である。

学校行事は、このような大きな集団における望ましい集団活動や感動体験などを通して、望ましい人間関係を形成し、集団の所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育成することを目標としている。

教師は、全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦労を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにするとともに、例えば次のようなことが効果的に育てられるように適切な指導をする必要がある。

- 学校生活を豊かで実りあるものにするという共通の目標に向かって、自らを律し、協力し、信頼し、励まし合い、切磋琢磨し、喜びや苦労を分かち合うような人間関係を築こうとする態度
- 学校への愛着、学校の一員としての自覚や仲間意識などの集団への所属感や連帯感
- 郷土の伝統や文化、地域社会の生活や人々と積極的にかかわり、自分の役割を自覚し、自らを律するとともに、自己を生かし、協力しながら進んで役に立とうとするなどの公共の精神
- 学校生活の充実と向上のため、互いの力を合わせ互いに役割や責任を果たし合おうとすることについて、児童自身が意識して努力し、自らが主体的に取り組むなどの自主的、実践的な態度

## 2 学校行事の内容

学校行事の内容は、学習指導要領第6章第2「各活動・学校行事の目標及び内容」の〔学校行事〕2「内容」で次のように示している。

全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

学習指導要領には、このような学校行事の内容に即して、全ての学年で取り組むべき次の5種類の内容を示している。

### (1) 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。

### (2) 文化的行事

平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。

「学芸的行事」を「文化的行事」と改め、「文化や芸術に親しむ活動」を加えた。

### (3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

自然の中での集団宿泊体験や異年齢の交流などを含む多様な人々との交流体験、文化的な体験などを重視する観点から

### (4) 遠足・集団宿泊的行事

自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

遠足・集団宿泊的行事の内容に「自然の中での集団宿泊活動など」と「人間関係など」を加えた。

### (5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。